

(Daily 日本史) ～中世日中関係史～

【問】 2002 年 同志社大学 経済昼間主・夜間主

次の(a)～(e)の文章を読んで、下線部1～8について〔設問1〕～〔設問8〕に答えよ。解答は漢字で記せ。

(a) はじめ中央アジア方面の征服に力を注いでいたモンゴル帝国は、やがて日本をふくめた東アジアにも大きな影響をおよぼしてきた。1231年にモンゴルの高麗への侵略がはじまる。高麗は翌1232年にモンゴルが海戦には不得手であることを見込んで、都を江華島に移し、抗戦の決意を固めた。その後30年弱の間にモンゴルはたびたび侵略を繰り返し、そのたび高麗は果敢に戦った。1260年にフビライが皇帝になると高麗にたいし懷柔策をとるとともに、高麗も親蒙的立場をとり、反蒙的武人たちの排除につとめた。しかし、1高麗軍の一部は反乱を起こし、1270年から1273年まで珍島ついで済州島に拠って徹底抗戦をつづけ、日本へも援助を求めてきた。

〔設問1〕 この抵抗組織は何と呼ばれたか。その名称を記せ。

(b) 足利義満が将軍職についた年、中国では元を北方に追いやって、明が建国された。明は漢民族中心の伝統的な国際秩序の再興をめざし、近隣諸国にたいし、臣下の礼をとり国交を開くように呼びかけ、その呼びかけは日本にももたらされた。また中国や朝鮮の沿岸で海賊行為を働く者たちの取締まりを幕府に求め、それらの海賊対策のために、2明は自国民の自由な海外往来や民間交易を禁じる政策をとった。

〔設問2〕 明のとったこの政策を何というか。その名称を記せ。

(c) 足利義満は、貿易の利益があがればよしとして、3明に臣下の礼をとって貿易を行った。しかし、4これを国辱として、日明貿易を中断する将軍もあらわれた。その後また室町幕府は日明貿易を復活させたが、応仁の乱後、貿易の実権は、5堺の商人と手を結んだ()氏、博多の商人と手を結んだ大内氏の手に移り、やがて大内氏が貿易を独占するようになった。

〔設問3〕 このような形式の貿易を何というか。

〔設問4〕 日明貿易を中断させたこの将軍はだれか。その名を記せ。

〔設問5〕 ()内に当てはまる大名の姓を記せ。

(d) 明の建国にややおくれて、朝鮮半島では、李成桂が高麗を滅ぼし朝鮮を建国した。朝鮮も日本に海賊の鎮圧を条件に国交を開くことを呼びかけ、足利義満もこれに応じた。交易は開始されたものの、海賊行為を働く者たちの勢いはさかんで貿易も順調ではなく、朝鮮は対馬を海賊の根拠地と見なして大軍をもって襲撃し、一時これを占拠した。これによって中断した貿易は、その後 20 年あまりたって、対馬の守護である()氏と朝鮮とのあいだに条約が結ばれ、再開された。

〔設問 6〕 この事件は何と呼ばれるか。

〔設問 7〕 ()内に当てはまる対馬の守護の姓を記せ。

(e) 12 世紀から 15 世紀にかけて見落とすことのできないのは、日本海沿岸の各港を結んで商船が往来し、日本列島南北の物資の交流がはかられたことである。ことに、津軽半島の北西部に位置する港を支配していた安東(安藤)氏は、中国や朝鮮とも交易していたことが、遺跡からの発掘品によってわかっている。

〔設問 8〕 安東(安藤)氏が拠点としたこの港の名を記せ。

【解答】

〔設問 1〕 三別抄

〔設問 2〕 海禁政策

〔設問 3〕 朝貢 貿易

〔設問 4〕 足利義持

〔設問 5〕 細川

〔設問 6〕 応永の外寇

〔設問 7〕 宗

〔設問 8〕 十三湊